

学校教育自己診断の結果と分析

- 「Q. 吹田東に進学して(させて)よかった」の肯定的回答は生徒(73.8%)、保護者(86.7%)共に昨年を上回っています。特に3年生では生徒約8割、保護者は9割と高い肯定的回答になっています。
- 「授業の満足度」については生徒・保護者共に肯定的回答は低い結果でした。生徒の授業アンケートの結果を元に各教科や担当で議論し、生徒がより成長する授業をめざし、今後も改善に努めていきます。
- 各教科の課題の量について1・2年生は7割以上の生徒は「適切である」と答えていますが、3年生では6割弱なので進路の実現に向けて3年生では課題の量を増やすことも検討していきたいと思えます。
- 教員の講習に参加した生徒の満足度は高い評価得ていますが、S講座については生徒のニーズに応えられていない部分もあるようなので、青葉丘セミナーも含め、担当者と内容を検討していきます。
- 学校行事、部活動への取り組みについては生徒・保護者共に7割以上が「積極的に参加している」と回答しています。学校行事の充実と部活動の活性化について今後も取り組んでいきたいと思えます。
- 進路指導の取り組みについて、生徒の肯定的回答は約8割以上と昨年よりも更に高いものでした。保護者の連絡、意思疎通の肯定的回答は65%とニーズに応えられていない部分も多いようなので、生徒を通じて情報等、確実に連絡するよう、これからも生徒の進路実現を第一に指導に取り組んでいきます。
- 生徒指導において、生徒の「納得できる」の肯定的回答は58.8%で、保護者の「共感できる」という回答は72.4%でした。生徒にとっては少し窮屈な部分はあるかもしれませんが、また記述のアンケートからも「厳しすぎる」という意見もありました。本校としては、当たり前のことを当たり前でできる生徒になってほしいと考えています。保護者の7割以上の肯定的な回答と、記述のアンケートによる肯定的な意見を考慮し、落ち着いた環境で授業や学校生活が送れるように今後も指導していきたいと思えます。
- 携帯メールの情報提供について保護者の肯定的回答は9割弱と非常に高かったのですが、「Q. ウェブページを見るか」の肯定的回答は、保護者・生徒共に非常に低く、こちらの情報提供も有効に活用できるように今後工夫していきたいと思えます。
- 災害時の対応について、半数近くの生徒が知らされていないと回答しています。今年度は防災避難訓練を悪天候の関係で1回しか実施していません。各クラスに掲示している避難経路図と地震・火災が起こった時の行動マニュアルを確認させ、安全な学校生活を送られるよう指導します。
- 施設についての満足度は高くないですが、仮設校舎で制限がある部分もあります。記述の意見ではエアコンの温度設定のことがあります。このような環境(仮設)なので、稼働時期を早めたり、設定温度を変更したりしています。また、文化祭時に校舎内での水の使用制限についての意見もありましたが、校舎の構造上水の使用は禁止されています。